

露涼し

染谷秀雄

神木の樟に一札夏の宮

渦なして水湧くところ竹落葉

大川に往き來の船やさみだるる

真間川の岸壁藺草猛々し

蜜蜂の骸を掃きて祭待つ

黒南風や河口に尖る波頭

絡まりて絡まりて鳥瓜の花

塩味のすこし強めの葛桜

二番子の燕よく飛ぶ湊かなし